



からしだねの由来 マタイ 13 章 31 節、マルコ 4 章 30 節、ルカ 13 章 18 節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南 1 丁目 35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第 451 号

新しい年を迎えて・・・

ロザイロ・ブラッドリー 神父

皆さん、新年あけましておめでとうございます！

2026 年が皆様にとってご健康に恵まれた実りある一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

年の初めに幸せを祈り、祝福をいただく習慣がどこの国でもあると思います。私は日本に来て初めて初詣に行ったことを覚えています。カトリックの神父が初詣に行ったことを皆さん耳にしたことがないかもしれませんね！私が行った奈良の春日大社では、たくさんの人が祈ったり、箱にお金を入れたり、おみくじを求め、自分の運勢が良いか悪いかを読んだりするのを見ました。私にとって、神社への訪問は教会と違った雰囲気を感じる一つの機会となりました。新しい年を迎えるにあたりそれぞれの宗教者が一年の無事と平安を祈り、新しい気持ちで一年をスタートすることはとてもいい習慣だと思います。

今年、神様が私たちのためにどんな計画を立てていらっしゃるかわかりませんがその計画を少し後回しにして、この一年私たちは自分だけでなく、他の人の幸せをも祈りながらもっと良い生活を送るように、努力しましょう。そのために私たちの意識や生き方や行動などを、変えなければならないと思います。そうすることによって家庭も教会も周りの世界も美しい場所になるのではないのでしょうか。



外国籍信徒の現状・つづき	2面
黙想会と赦しの秘跡	3面
教会学校のページ	4面
幼稚園から	5面
委員会等報告	6面
地域とのかかわり	7面
お知らせ	8面

外国籍信徒の現状・つづき

岩本光弘

日本に来ている技能実習生のうち、現在はベトナム人が一番多い状態になっています。かつては 75%以上来ていた中国人が急速に減り、その減少分を補うようにベトナム人がふえましたが、最近は様々な原因で減っています。

今年の春に福岡教区からベトナムの神学校に派遣されている神学生が水巻教会に来ました。彼とは福岡の日本語学校に行っているところに知り合い、箱崎教会にいたピーター・トワイ神父と私の家に遊びに来たことがありました。彼がその時私に次のように言いました。

「岩本さん。ベトナムからの実習生は来なくなりますよ。理由は二つあります。一つは賃金が安いことです。二つ目は在留期間が短いことです」彼は本当に心配していました。

日本では働きに来て一定の期間が過ぎると強制的に帰国が求められます。技能実習生制度は、一定の期間で帰国させるための制度です。台湾や韓国などでは長期在留や永住の道があります。日本に定住もしくは帰化したいと思っている外国人はたくさんいます。技能実習生からも日本に長く住みたいと言う話をたくさん聞いています。昨年も私が良く知っているベトナム人の一家が日本国籍になりました。帰化の相談も受けていますが難しいのです。

日本の賃金が安いことが国会でも議論に出ていますが、アジアの各国に追い抜かれています。円安も母国への送金でのひどい目減りになります。賃金や在留の条件が悪くても日本に行きたいと思って日本に来ている人も沢山いることを私たちは大切にしないといけません。

福岡教区にはベトナム人の司祭が足りません。9月14日大名町教会で新しいベトナム人の司祭が叙階しました。水巻教会の青年たちもたくさん叙階式に行きました。

福岡教区では箱崎教会にいたドミニコ会のトワイ神父が二年前にローマに留学してからは、3年前に来日したチェン神父が一人で頑張っていました。福岡教区で新しいベトナム人の司祭が誕生しましたので、10月から福岡教区内をチェン神父と新司祭の二人で担当することになりました。これからは、小倉、水巻、行橋、大名町、久留米、熊本でミサがあります。

広島教区ではここ数年でベトナム人神父が増えました。私が知っているときは一人でしたが、彼は岡山地域の担当になり、その後に下関にきた、リー神父が山口地区を担当していました。リー神父にはベトナム人実習生の相談の通訳も度々していただきました。リー神父は小倉教会でのミサに来てくれていましたが、春にイエズス会の指示でアメリカに転勤しました。しかし、3年くらいの間に4人の新しい司祭が来ていて、今、広島教区は5人体制になっています。広島や岡山のミサには300人から400人のベトナム人信徒がミサに来ているそうです。広島教区には様々な国の司祭が赴任していて、広島の司祭が私に「広島教区は多文化共生だよ」と言って笑っていました。広島教区はかなり前からフィリピンや韓国の教区と協定を結んでいます。アフリカ・コンゴの司祭も二人います。



12月7日(待降節第二主日)黙想会と赦しの秘跡

熊本手取教会主任司祭のヨハネ 櫻井 尚明(さくらい なおあき)神父様による黙想会は、神父様ご自身の洗礼名についてのエピソードが信徒の笑いを誘い、和やかな雰囲気の中で始まりました。

お御堂内に響くようなテノールの大きな声と、わかりやすい言葉は説得力があり、素直に聴く者のところをグイグイと引き込まれます。

コリント人への手紙の中から引用されて、人間中心の生き方を改めて、神の力を信じ、主の召に応えることは一人ひとりに与えられた役割を生きる事である。何も持たない貧しさと自身の弱さを嘆くのではなく、むしろその弱さを誇り、キリストに倣う思いを持って信仰生活を最後まで走り続けましょう。と結びの祈りを共に捧げました。



神の慈しみに感謝した昼食を信徒一同と終えて、午後からはブラッドリー神父様、サミット神父様(オプレート会)、櫻井神父様がそれぞれの告解室にて回心式に臨まれ、罪を告白する一人ひとりに、主の御名による罪の赦しを授けられました。



教会学校のページ

12月21日のミサ後にアドベントキャンドル作りをしました。トレイをキャンバスにして、それぞれのセンスを発揮し素敵な作品が出来上がりました。来年の待降節が楽しみです！

最後に神父様と一緒に大きなピザとお菓子を頂きました。



【リースを作っている子ども達】



【ピザパーティーで楽しいひととき】



子ども達が
作ったリース





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 1月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉



11月28日(木)に待降節の集いがありました。各クラスでそれぞれのろうそくの意味をよく考えて『イエスさまへのこころのプレゼント』を贈りました。神父様もお話をしてくださり、子ども達が疑問に思っていることも丁寧に教えてくださいました。

12月6日(土)にクリスマス生活発表会をしました。A組は聖劇、B組は言語劇、C組は遊戯、言語劇、D組は遊戯をしました。劇の役や遊戯では、子ども達が自分で選択をして、練習の成果をお見せすることが出来ました。

子ども達は緊張の中、自信をもってクリスマス生活発表会に最後まで取り組むことが出来ました。



TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



神父様がお部屋に来られ、待降節のお話をされました。4本のろうそくの意味やクリスマスを優しい心で待ち望むこと等について、お聞きしました。プレゼントをもらうだけのクリスマスではなく、クリスマスの特別の意味が何となく分かったのでしょうか。マッチでろうそくに火を点けて、ろうそくを見つめることが出来ました。

畑の中に、茶色のカマキリを発見しました！子ども達は大興奮で、葉っぱなどで触ってみたり、じっと見たりして観察しています。カマキリも身を守るために威嚇ポーズをとることもありました。カマキリは縁起の良い生き物とされています。皆に幸運が訪れるといいですね！



TEL : 050 5212 7759

[https : www.mariahouseofchildren.jp](https://www.mariahouseofchildren.jp)

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同



地域とのかかわり

最近、とは言っても2年越しのことなのだが、ひょんなことから地区の役員になってしまった。実は、十数年前から何度も役員の誘いはあったのだから、教会広報のことを口実にお断りしてきた。

2年前、広報リーダーを外れたが、そのタイミングで地区の役員から役員を勧誘されたのだ。ほとんど広報リーダーを外れたばかりのタイミングであった。これまで。再々の誘いを断り続けていたこともあってさすがに断りづらくなり、つい受けてしまった。

私が住んでいる地区は野間地区といい、さらに3つの小地区に分かれている。野間11区、野間2区、野間区4の3つ。以前は野間3区もあったのだが今は分離。3つの小地区が野間公民館を中心に活動をしている。私に振り当てられたのはこの公民館長である。

前任者によると3年に一度、一年間公民館の管理担当が回ってくるといい、これを除けばそれほどやることは多くないらしい。安心してしたが、最初の一年から役員として小学校区との絡み、町全体の公民館の横の連絡組織、地区の下部組織となり組長との連絡会議、その事前会議、地区小学生の安全のため交通安全の見守りなど、当初聞いていたことと異なりかなり煩雑な仕事があった。当初は日曜日にかかる行事は断ってきたが、慣れに従ってそうもいけなくなった、2年目からはほとんど地区にかかわる会議にはできるようにし、来年度担当になる管理担当年に向け頑張っている。途中家内の入院やコロナ罹病などのアクシデントもあって重要な行事、会議に参加できないハプニングもあったが、地区役員の理解で何とか乗りこなせた。

これでいよいよ、本番の公民館専従の管理担当の当番年に入ることになる。

先日、来年一年間だけはいよいよ日曜日のミサに出にくくなると神父様に報告した。少し叱責も食らうかと、おすおすと申し出たが、神父様は理解ある返答をしてくださった。「地域とのかかわりも大切です。教会のことを忘れずいたのでしたら、地域とのかかわりを優先することも大事」。

地域の役員になる以前、地域とのかかわりはほぼ全面家内に任せてきた。地区とのかかわりが大きくなるにつれ、地区の問題も浮き彫りになる。これからどうなるかわからないが、来年一年ちょっと頑張ってみたい。(海老津地区・山口一隆)

委員会等報告

2025年12月分

12月度小教区委員会 12月14日

1. 行事予定

- ・1月 1日(木) 10時～ミサ
神の母聖マリア
ミサ後、車の祝別
- ・1月 3日(土) ベトナム6周年
15時～ミサ、17時～祝賀会
- ・1月 4日(日) 9時半～ミサ
ミサ後～イルミネーション片付け、
役員会
- ・1月11日(日) 9時半～ミサ
ミサ後～小教区委員会、教会学校、
- ・1月18日(日) 9時半～ミサ
枝の回収
- ・1月25日(日) 9時半～ミサ
ミサ後～教会学校 役員会 ころ
の会、16時～ベトナム語ミサ

2. 議題

(1)各専門委員会および代表委員(営繕、
納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評
議委員より

①広報委員会

- ・特になし

②典礼委員会

- ・12月21日に典礼委員会を開き、降誕祭
ミサについて話し合う。

③総務委員会

- ・特になし

④財務委員会

- ・1月11日の小教区委員会にて予算の承
認をお願いしたい。

⑤営繕の部

- ・リモートミサの説明をお知らせに載せる。
- ・アシスト付の車椅子を購入する。機種を選
定し、次回小教区委員会にて報告する。

⑥納骨堂管理の部

- ・特になし

⑦冠婚葬祭の部

- ・緊急連絡簿を作成し、葬儀マニュアルに入
れたい。1月からマニュアルの検討を開始す
る。

⑧北九州地区宣教司牧評議会

- ・特になし

(2) その他

①信徒会館バリアフリー化について

- ・バリアフリー化については、12月中に見
積取得予定。
- ・信徒より、施工までの間、市販のシートを
購入し仮養生してはどうかとの意見もあ
ったが、年度内に工事の予定であることか
ら、現状ままとする。

- ・なお、3社すべての見積が揃い次第、内容
を開示する。

②東南アジア災害義援金

- ・新年に入って始める。

③宣教のため、11月 死者の月のミサの案
内を遺族(特に未信者の方)に送る。

- ・葬儀についての教会の考え方についても
同封し、案内する。

④後方の掲示板が古くなり、押しピンも入り
にくいので、ホワイトボードに更新する。



★元旦ミサ(神の聖母マリアミサ)★

日 時：1月1日(木) 午前10時～
先月号では午前9時30分～とお知らせしていましたが、変更になっています。
この日は車の祝別があります。

★馬小屋・イルミネーションの片付け★

日 時：1月4日(日) ミサ後
ミサ後に馬小屋やクリスマスイルミネーションの片付けをします。手伝いができる方はよろしくお願いします。

★特別献金★

12月7日 宣教地召命促進の日献金
18,945円
ご協力、ありがとうございました。

★レプトン会より★

トラピストクッキーとミサワインの販売
収益金； 21,565円
皆様のご協力に感謝いたします。
ペルーの貧しい子どもたちの支援金に活用します。

★ベトナム6周年のミサ・祝賀会★

日 時：1月3日(土)午後3時～ ミサ
午後5時～ 祝賀会
場 所：水巻教会・聖堂、信徒会館
ベトナム語ミサと祝賀会に日本人信徒の皆さんにも集ってもらい、交流を行いたいという思いから、招待状が届いています。
聖堂の後ろに掲示してありますので、ご覧ください。ぜひ、たくさんの信徒の皆さんの参加をお待ちしています。



折り鶴を拝納しました

昨年8月の平和祈願ミサに奉納するために、信徒の皆さんそれぞれ祈りを書いた折り紙で作った千羽鶴を、11月12日に小倉勝山公園原爆犠牲者慰霊平和祈念碑に拝納してきました。

